

教授 矢羽野 隆 男 (男)
(ヤハノ タカオ) (Takao Yahano)

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 大阪大学	
	取得方法	課程 平成 2 年取得	
◆ 学 歴	大 学	大阪大学文学部哲学科中国哲学専攻 昭和 63 年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史（中国哲学）専攻 平成 2 年修了	
◆ 学 内 職 務 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 図書館長 ▪ グローバル教育副委員長 ▪ 教務委員 ▪ 教養教育委員 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 仏教文化研究所主任研究員 ▪ F D 委員 ▪ 中国語主任 		
◆ 担当授業科目 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 古典Ⅱ（漢文） ▪ 漢文学 ▪ 日本学基礎演習Ⅰ ▪ 国語教材研究論Ⅲ 		
◆ 職務上の実績に関する事項（資格、免許、特許、等）			
▪ 高等学校教諭 2 級普通免許（国語）、中学校教諭 1 級普通免許（国語）			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
中国哲学	日本漢学	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 漢代思想 ▪ 儒学 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 江戸儒学 ▪ 懐徳堂
◆ 研究概要	近世・近代の大坂漢学の研究		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本中国学会 ▪ 日本道教学会 ▪ 東方学会 ▪ 全国漢字漢文教育学会 		
◆ 主要著書（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所、発表雑誌等、発表学会の名称
▪ 懐徳堂研究	共	平成 19 年 11 月 20 日	汲古書院
▪ 白川静の世界Ⅰ文字	共	平成 22 年 9 月 24 日	平凡社
▪ 名言で読み解く 中国の思想家	共	平成 24 年 8 月 25 日	ミネルバ書房
▪ 初級中国語課本（改訂版）	共	平成 26 年 4 月 1 日	駿河台出版社
▪ 大学・中庸	単	平成 28 年 2 月 25 日	角川学芸出版（ソフィア文庫）
▪ 増補改訂版 懐徳堂事典	共	平成 28 年 10 月 21 日	大阪大学出版会
◆ 主要論文（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所、発表雑誌等、発表学会の名称
▪ 王符の学問論と「潜夫」の立場と	単	平成 11 年 6 月 1 日	『中国研究集刊』（大阪大学中国学会）第 24 号
▪ 黄遵憲『日本国志』の宗教観—清末外交官の見た神国—	単	平成 19 年 5 月 10 日	『東方宗教』（日本道教学会）第 109 号

幕末における懐徳堂再興運動ー並河寒泉日記『居諸録』に基づいてー	単	平成 20 年 9 月 25 日	『四天王寺大学紀要』第 46 号
並河寒泉の陵墓調査ー幕末懐徳堂教授の活動ー	単	平成 26 年 1 月 31 日	『懐徳』（懐徳堂記念会）第 82 号
泊園書院の『大学』解釈ー徂徠学の継承と展開とー	単	平成 26 年 12 月 15 日	『中国研究集刊』第 59 号
◆ その他（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 『潜夫論』五徳志篇にみる王符の歴史観	単	平成 9 年 3 月 10 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』第 29 号
▪ 王符の政治思想における〈智〉	単	平成 3 年 6 月 10 日	『中国研究集刊』第 10 号
西村天囚と泊園書院とー藤沢南岳編『論語彙纂』への天囚書入れをめぐる	単	平成 18 年 4 月 10 日	『中国学の十字路 加地伸行博士古稀記念論集』（研文出版）
▪ 「長恨歌」の主題と構成ー「李夫人」・悼亡詩との比較から	単	平成 17 年 3 月 8 日	『日本語日本文化論叢 埴生野』（四天王寺国際仏教大学日本語日本文化専攻）第 4 号
▪ 『図書編』の成立ーその易学との関連ー	単	平成 7 年 4 月 30 日	『中国研究集刊』第 16 号
幕末懐徳堂の情報環境ー島津久光の率兵上洛を中心にー	単	平成 29 年 1 月 31 日	『懐徳』第 85 号